



JPI催しのご案内

2020
1

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 令和2年1月23日(木) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,300円(1部会、税込)

第1部 第229回包装資材研究会

13:15~15:00

【テーマ】「紙でできることは紙で。」 ~紙のもたらす新たな機能と価値~

包装業界に限らずすべての産業界において、「サステナビリティ」「気候変動」「廃棄物問題」は、地球環境における普遍的な課題として挙げられる。日本製紙グループでは、「紙でできることは紙で。」という考えのもと、パッケージにおける紙の可能性を拡大し、これらの課題解決に貢献できるような技術・製品開発を行ってきた。本講演では、紙素材の特徴を説明した後に、日本製紙グループのパッケージ戦略と開発事例の紹介を通して、課題解決に対する紙の貢献可能性について述べる。

【講師】日本製紙株式会社 パッケージング・コミュニケーションセンター／技術調査役 包装専士 野田 貴治 氏
【コーディネーター】雪印メグミルク㈱ ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室 容器包装開発チーム 包装管理士 下浦 博之 氏

第2部 第107回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】2020年に向けた食文化発信の取組について ~持続可能性に配慮した食材調達動き~

東京大会開会式まで残すところ約200日となったが、持続可能性に配慮した大会として、ロンドン大会から食材調達基準が策定され、リオ大会でも調達基準が策定された。
東京大会も、過去大会を踏まえて調達基準が策定されているが、持続可能性に配慮した大会に向けて食材の調達の観点から考察する。

【講師】内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック競技大会事務局参事官補佐 高野 新 氏
【コーディネーター】㈱精工 営業企画本部 取締役 営業企画本部長 包装管理士 大枝 麻由 氏
理研ビタミン㈱ 第一生産本部 資材部 資材部長 兼 包装資材管理・技術センター長 包装管理士 北 松彦 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

1 月度の見学会はございません。

第15回 緩衝包装設計コース

～初級から中堅クラスまでの包装設計者に対応～

●開催要領

日 時：令和2年1月21日(火) 10:00～17:30

参加費：1名につき 会員27,500円・一般38,500円 (消費税・テキスト代・副読本代込み含む)

会 場：(公社)日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定 員：50名 (定員になり次第締切となります)

講 師：(株)石野製作所 専務理事 包装専士 高橋 二朗 氏

●スケジュール(予定)

時 間	内 容
10:00～12:30	1. 輸送包装と緩衝包装 (輸送包装における、製品保護についての緩衝包装の必要性) 2. 衝撃と振動の平易な力学 (落下衝撃と輸送振動のマス・バネ系モデル化による作用力等について) 3. 緩衝包装設計の手順 (緩衝設計ステップ5法則の流通環境、製品易損性、材料、設計、試験について) 4. 緩衝包装設計基本技法 (緩衝材の性能を示した特性曲線図から緩衝材の厚さと面積を求める方法)
13:30～17:00	5. 緩衝包装設計の応用技法と総合演習 (現実的な緩衝包装設計をした後、設計・製作・試験・評価の模擬実験を行う。) 6. 製品における緩衝包装設計 (発泡プラスチック系、段ボール、パルプモールド、真空成型等の緩衝材別の設計) 7. 緩衝包装設計の実例 (実際の緩衝包装設計のCAD図面・写真・落下試験データ等の解説を行う)

詳しくは専用パンフレット及び当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第45回 段ボール包装設計コース

～初心者を対象に段ボールの特性・包装設計を学ぶ～

●開催要領

日 時：令和2年2月13日(木)～14日(金) 10:00～17:30

参加費：1名につき 会員：44,000円 / 一般：55,000円 (消費税・テキスト代含む)

会 場：(公社)日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定 員：40名 (定員になり次第締切となります)

講 師：レンゴウ(株) パッケージング部門 開発本部 包装技術部 東京包装技術第一課 担当部長代理 包装専士 大谷 昌義 氏
王子コンテナ(株) 営業本部 CS推進部 包装技術 主幹 包装管理士 小林 昌弘 氏

●スケジュール(予定)

時 間	内 容
2月13日(木) 座 学	【段ボールの基礎】包装産業の規模・段ボールの特性・製造と設備・強度特性 他 【包装設計に必要な知識】段ボール箱の設計手順、寸法設計、圧縮強さ、材質選定、緩衝設計 他
2月14日(金) 実 習	【ケーススタディ実習】事例別グループに分かれ、段ボール箱を試作・発表資料を作成 【ケーススタディ発表】グループごとに試作品を発表・講評及びディスカッション 他

詳しくは専用パンフレット及び当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第15回 包装材料セミナー

—サステナブル社会に向けたプラスチックリサイクル最新動向—

●開催要領

日 時：令和2年1月31日(金) 9:50～16:30

参加費：1名につき会員20,900円 3名同時申し込みの場合1名16,500円・一般28,600円 (消費税・テキスト代含む)

会 場：富士ソフト アキバプラザセミナールーム

定 員：100名 (定員になり次第締切となります)

●スケジュール(予定)

9:50～10:50	①「BASFによるサステナビリティへの取り組み-“ChemCycling”-循環型プラスチックエコノミーに向けた新手法」 講師：BASF East Asia Regional Headquarters Ltd. Raupp, Nikolaus 氏
11:00～12:00	②「[PLANTIC]と「エバー」の最新動向と環境・リサイクル対応型包材への適用」 講師：(株)クラレ 片倉 剛志 氏/黒崎 一裕 氏
12:00～12:50	昼食休憩
12:50～13:20	講師への質問会①、②
13:30～14:30	「環境型社会の実現に向けたプラスチック製容器包装のリサイクル技術の開発」 講師：東洋インキ(株) 安田 秀樹 氏
14:40～15:40	「テラサイクルの新たな挑戦—廃棄物ゼロを実現する循環型ショッピングシステム「Loop™」(仮) 講師：テラサイクルジャパン合同会社 エリック・カワバタ 氏
15:40～16:00	休憩
16:00～16:30	講師への質問会③、④

詳しくは専用パンフレット及び当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。